

# 保 健 部 会

**研究主題　　養護教諭の専門性を生かした学校保健活動の充実を目指して**

## 1　主題について

平成20年度から4年間、中学校区毎に研究を行い、各地区の健康課題に積極的に取り組んできた。平成23年度で4年間の研究に一度区切りをつけ、今年度からは、小学校、中学校の校種を基本にして、数グループに分かれ研究をすすめることとした。

各校や校種の実情と健康課題に沿った内容を研究実践し、部会内で共通理解を図り、児童生徒の健康の保持増進のための活用を目指したい。

## 2　今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
4月12日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	7月～10月	保健部会（班ごと） 研究の進め方と内容の確認
6月27日	保健部会（全体） 班ごとの研究テーマ設定	11月 7日	第2回総合研究会 各班の研究経過発表

## 3　研究内容（①研究テーマ　②今年度の取り組み　③今後の取り組み）

(1) ノーザンフレンズ（釧路内小・花岡小・矢立小・二中・花岡中・矢立中）

- ①「統合に向けた保健室経営のあり方」
- ②・養護教諭の執務に関する統合に関わるアンケートの実施とまとめ
- ・引き継ぎ事項の確認とその準備
- ③・書類関係の整備　・保健室内の物品整理
- ・保健室経営計画案作成
- ・児童生徒の心の健康に関するアンケート作成と実施

(2) 保健学習班（桂城小・城西小・城南小・上川沿小）

- ①「保健学習における養護教諭の関わり方  
～TT及び資料提供～」



【ジュースの中の砂糖の量】

- ②体育科の年間指導計画の確認と養護教諭の授業への関わり方の検討
- ③養護教諭の専門性を生かした教材の作成と指導の実践

(3) 樹海ライナーズ3（有浦小・長木小・雪沢小）

- ①「望ましい生活習慣の確立を目指して～すぐに役立つ保健教材の作成～」
- ②・むし歯予防に使える教材（パワーポイント・掲示物）の作成
- ・元気UP大作戦カードを活用した生活習慣の見直し

- ③朝食や睡眠等に關した教材作りや、集会の実践記録の共有と資料作成

(4) ヘルシーライフ（西館小・扇田小・東館小・成章小）

- ①「生活習慣とメディアについて」
- ②児童の生活実態を把握するためのアンケート調査の実施と分析
- ③・追跡調査の実施とメディアとの接し方等に関する保健指導の実施
- ・学校保健委員会の活用と家庭への啓発

(5) 子どもたちがハッとしてグッとくる執務のアイディア（南小・川口小・山瀬小・早口小）

- ①「子どもたちがハッとしてグッとくる執務のアイディア」

- ②・子どもの興味を引き出すための教材や掲示物の作成（保健室、全体指導、委員会活動）  
 　・他校の保健室を訪問（弘前大学教育学部付属小学校）

③・教材や掲示資料の作成  
 　・保健室施設、設備の紹介やレイアウト等の紹介  
 　・あらゆる機会をとらえての保健指導

(6) 諸用紙作成班（一中・成章中・田代中・国情中）  
 　①「保健室管理を円滑にすすめるための諸用紙作成と活用」  
 　②「保健室来室カード」「保健室利用記録」の作成  
 　③受診勧告用紙、スポーツ振興センター手書き書類の見直し

(7) 委員会活動班（比内中・下川沿中・東中・南中）  
 　①「生徒保健委員会における養護教諭の関わり方  
 　　　～自主的・実践的な活動になるための指導と支援の在り方～」  
 　②比内中学校　一歯の標語募集、歯ブラシ点検、家族ミーティング

[資料1]						
(枠線――の中は自分で書きなさいよ。)						
<b>保健室來室カード</b>						
年 月 日	組 時	番 分				
			姓 名	性別	年 齢	科 室
校 業	学 年	性 別	國 籍	社 員	理 道	住 居
家庭	家庭	性別	性別	性別	性別	性別
実定理由 主 訴	頭痛 腹痛 口臭い 気分悪い 打き出しがん 鼻出血 気温低落					
就寝状況 朝 食	( )					
就寝時間 ( )	起床時間 ( )					
就寝結果 ( ) °C						
(1) 授業に欠席します。						
(2) 保健室で <input type="checkbox"/> 休ませさせます。 <input checked="" type="checkbox"/> 休ませさせません。						
(3) 早退を始めます <input type="checkbox"/> 保健室へ連絡します。 <input checked="" type="checkbox"/> 保健室に連絡をお願いします。						
(4) 早退せません。						
(5) その他 ( )						
担当者 サイン _____						
担当の先生が、必ずサインをもってください。						
[最後には必ず学級担任印] _____						
【保健室来室カードの活用法】						
①保健室へ連絡する事例へ						
②保健室へ通院する事例へ						
③保健室へ連絡する事例へ						
④保健室へ連絡する事例へ						

【保健室利用カード】

下川沿中学校一栄養指導集会  
東中学校 一トリプルスリー（うがい・手洗い・換気）運動，朝会発表  
南中学校 一学校生活（給食・清掃）のオリエンテーション，保健集会  
③各校の実践事例を再検討して、各校の委員会活動の活性化を図る。

(8) 指導助言（青柳 正隆 長木小学校校長）

- ・研究主題に迫るためにアプローチの仕方について、各グループがテーマや目的をしっかりともって研究していると感じた。グループ名もユニークである。
- ・統合に向けた取組では、書類等の整備において、保健関係だけではなく学校全体としても考えていかなければならないことである。また、統合前から心身の安定を図るための取組をしていることはすばらしいと思う。
- ・保健学習については、3～6学年の保健が理科や家庭科と関連しているということを表としてまとめることができたことは大きな成果であったと思う。養護教諭がTTとして授業に参加したほうがよい内容と、そうではない内容のもとを確認できたことも成果の一つではないか。
- ・養護教諭が作る教材・教具は、アイディア豊かで思いが込められていると感じた。作られた教材・教具を大切にしていただきたい。
- ・子どものメディアとの接し方や睡眠の大切さについての啓蒙は、全職員で取り組むべき内容である。学校と家庭が連携して取り組むことができる方法を考えいかなければいけない。
- ・諸用紙作成について、精神的悩みを抱えた生徒は話すより、書いた方が伝わることがある。個々の実態に合わせて用紙を使用することが大事である。

(9) 講演会開催

演題「音と香りで魂の解放を！」 田口 瞳子先生 田口 諒也先生（音楽療法士）

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・各校の子どもたちの実情をふまえた課題に取り組むことができた。各班のバラエティに富んだ実践や情報を共有することができた。
  - ・継続研究をすすめることで、実態把握から指導、評価を行いさらに新たな課題まで検討することができる。

(2) 課題

- ・保護者への啓発を大切にしながら、保健活動に取り組んでいきたい。